

4月の園便り



いつだって、いきなり、きをつけてね
おかあさんが、てを、ふります。



「ようちえんに いきたい」

30年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

ご入園おめでとうございます。新たなお友だちを迎え、新しいスタートです、大変嬉しいことです。どうぞよろしくお願いいたします。

進級の赤ばらさん、そして白ばらさん、青ばらさん、おめでとうございます。みんな新しいヒカピカの名札に希望を持って張り切っていることと思います。すべてが新たに感じられる嬉しい春です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

3月末のこと、幼稚園の階段を、そうちゃんが紙を投げては、一段降りて、紙を拾ってまた投げて、また一段降りてと、繰り返しながら降りてくる姿が見えました。紙を投げながら階段を降りることを楽しんでいるように思えました、そうちゃんのそばにはお母さんがいらして、お子さんと歩調を合わせてゆっくり降りていました。お母さんは「何をしているの?」とか「早く階段を降りて・・・」などと言わずに、だまってそうちゃんのペースに合わせている様子でした。星の子のお迎えにいたしましたのですから、家に帰って家事をしなければならないでしょうに、男の子を急がせる様子は見られなかったのです。私が「子どもはなんでも遊びにしますね～」と言いますと、お母さんは「今、星の子で恐竜（だったかな?）を作ってもらったから、飛ばせているのだと思います」と言われました。なるほど、単純に紙を投げて遊んでいたのではなく、飛ぶ恐竜を作ってもらったから飛ばせてあげていたのだということでした。

子どもたちのどんな行動にも、理由があり、意味がある、それを考えて判断しなければならないと常々言いながら、男の子の姿を表面的に捉えてしまった私でした。お母さんは、そうちゃんの行動の意味が分かっていたので、そうちゃんの思いを受けとめて、一段一段恐竜を投げながら降りることに、きちんと付き合っていたのです。

子どもの思いを分かってあげる、思いを受け止めて添ってあげる…こうしたお母さんの対応は、子どもの情緒を育みます。つまり、人の気持ちが分かる、人と心が通じる子どもに育つということです。人と心をつなぐことができる大人として成長していくということです。子どもの気持ちを分かってあげる人が側にいることは、絶対に必要なことです。幼児期はとても大切な時期なのですが、現代はそれが消されつつあります。大人の都合が優先される社会ですからね!!でもね、次世代を担う子どもたちですから本当は大切に育てないといけないのです!!子どものそばにいる大人が子どもの心を理解し添ってあげる、大人の価値観では理解しがたいことであっても、まず、子どもの思いを分かろうとする、このことを心がけていると子育てのイライラも少し減って子どもの面白さが見えてくることと思います。子どもの“よき理解者”になりましょうね。

4月の予定

日	曜	給食	降園時間	行事
9	月	×	11:30	
10	火			入園式です。もも組さん、白ばらさん、青ばらさんはお休みです。
11	水	×	11:30	新入園児保護者の方に青陵幼稚園の教育説明会を行います。
12	木	○	2:00	赤ばらさんは身体計測です。赤ばらさん父母の会役員選出の会です
13	金	○	2:00	白ばら青ばらさんは父母の会役員選出の会があります。
14	土	/	/	第2土曜日
15	日	/	/	
16	月	○	2:00	青ばら1組学級懇談会。詳細は学年便りをご覧ください。
17	火	○	2:00	
18	水	○	2:00	青ばら2組学級懇談会。詳細は学年便りをご覧ください。
19	木	○	2:00	白ばら1組学級懇談会。〃
20	金	○	2:00	
21	土	×	11:30	自由登園日
22	日	/	/	
23	月	/	/	青陵学園創立記念日のためお休みです。星の子は行います。
24	火	○	2:00	赤ばらさん給食試食会です①
25	水	○	2:00	白ばら2組学級懇談会です。赤ばらさん給食試食会です②
26	木	×	11:30	誕生会、4月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
27	金	○	2:00	赤ばらさんは、本日より給食が始まります。
28	土	/	/	第4土曜日
29	日	/	/	昭和の日
30	月	/	/	振替休日

